

## 意見交換会報告書

委員会名	経済建設常任委員会
参加議員	議長 佐藤 貴雄 経済建設常任委員会 委員長 巽 久男 副委員長 池島 利明 委員 壘 次雄、小川 剛、吉岡 完司 議会改革推進特別委員会 住民参画部会長 小林 克行(司会) 委員 高橋 由信
意見交換団体	一般社団法人 群馬県建設業協会安中支部
団体参加者	支部長 ほか 10 名
日程及び場所	令和 7 年 7 月 14 日(月) 14:00~15:45 一般社団法人 群馬県建設業協会安中支部 事務所
テーマ	1. 上下水道管の老朽化について 2. 入札について 3. 除雪作業における竹切りについて 4. 道路維持管理事業について
内容	○議会改革の取り組みについて、議会改革推進特別委員会の高橋住民参画部会委員より、議会改革に取り組む背景などについて説明する。 ○支部長より、建設業を取り巻く人手不足等の現在の状況と活動状況について、説明を受ける。  ○テーマごとの意見交換 1. 上下水道管の老朽化について 水道管・下水道管の老朽化による道路陥没事故が多発していることを受け、市民の安全のため、調査・対策を進めるよう意見があり、現在の安中市の水道管・下水道管の状況や調査方法の方向性について説明し、意見交換を行いました。 【主な内容】 ・市民の安全のために、水道管・下水道管の老朽化について、調査・対策を進めてほしい。 ・埼玉県八潮市の事故があったように、安中市でも同様に下水道管の破損による道路陥没の可能性はあると思うので、今後約10年かけて、悪いところを点検修理していくと思う。 ・人工衛星による水道管の漏水発見事業が今後進むところである。  2. 入札について 市内に本社がある地元業者を優先してほしいとの意見などがあり、入札金額の記載や議会の姿勢などについて説明し、意見交換を行いました。

**【主な内容】**

- ・市内に支店がある業者が落札することもあるようだが、市内に本社がある地元業者を優先してほしい。
- ・一般競争入札で参加をした場合、入札金額を入れていない場合があり、それにより、途中辞退をしてしまうと市内の業者が落札することは難しくなる。
- ・令和4年9月の安中市議会で「公共事業等の市内業者への優先発注並びに地元産品の優先使用を求める決議」を採決しているため、議会としても地元業者を優先してほしいと考えている。
- ・市内に本店または支店があるという条件だと入札参加業者が多く、落札が大変である。近隣の高崎市や富岡市に本店がある等、入札参加条件を厳しくして頂きたい。
- ・昔は2千万円以上ではなく、もっと低い金額でも一般競争入札があった。金額について検討願いたい。

**3.除雪作業における竹切りについて**

除雪作業に竹切り作業が加わると支障をきたす場合があるので、地権者への早期対応の依頼、伐採時期、予算などについて意見があり、竹の伐採方法、地権者への連絡、緑の県民税関係などについて説明し、意見交換を行いました。

**【主な内容】**

- ・冬場の除雪作業が広範囲になる場合、竹切り作業があると人出を多くとられ、除雪作業に支障が出てしまうので、竹の持ち主の方に倒れそうな竹の早期対応をお願いしたい。
- ・大原則として、市が民有の敷地内の竹を切ることはできないので、市は竹の地主に通知は出している。
- ・現在、緑の県民税関係では、市は竹切りについて補助金を出しているが、この問題は慎重に考えていかなければならない。
- ・夏の土砂流出等の災害対応も同様であるが、会社ごとに担当する道路の路線が決まっているので、倒れそうなところはわかっている。県道の場合は夏場に伐採しているが、市道の場合も予算計上して事前に対応してほしい。
- ・5月6月とか、竹が細い時期であれば、費用は少なくて済む。
- ・土木事務所や県土整備部との意見交換会もあるが、どの地区でもこの話題が上がる。
- ・緑の県民税の補助金で、伐採した竹木の粉碎機を貸し出している。
- ・補助金を出して、地権者が共同で竹を切ることができれば良い。

**4.道路維持管理事業について**

道路整備に関わる予算の確保、整備時期などの意見があり、整備時期や情報共有などについて意見交換を行いました。

**【主な内容】**

- ・土砂等の堆積による側溝清掃、立木の伐採、除草等は、定期的な整備が必要不可欠である。防災面にも関係しているため、引き続き道路整備に関わる予算の確保をお

願いたい。

- ・仕事量が少ない時期に予算をつけ、道路維持管理ができるようにしてほしい。
- ・道路の維持管理は、2次災害や3次災害を防ぐことにつながるので、重要と考えている。
- ・維持管理が必要な道路箇所を情報共有できれば早期に対応できる。

#### ○テーマ以外の意見交換

##### 1.残土処分地について

残土処分への市の対応についての意見があり、処分地の課題に対して意見交換を行いました。

##### 【主な内容】

- ・残土処分地については、各社が困っている。
- ・国の通達では、設計の段階で残土処分地を指定することとなっているが、安中市の場合、今だに自由処分である。処分代も市からは出していない。
- ・残土処分地を整備してほしい。
- ・市が管理すれば変な廃棄物や業者も入らないと思う。残土処分地の問題は安中市だけではなく、全国的なものである。
- ・10年、20年という計画でも良いので、残土処分地は設けてほしい。
- ・個人で残土処分地を確保することが困難なのは承知している。

##### 2.災害時の通信について

災害対策の組織力強化のために、衛星通信サービス「スターリンク」配備への検討についての意見があり、状況をお伺いする中で、意見交換を行いました。

##### 【主な内容】

- ・災害時に通常の通信では通信が遮断してしまう。
- ・人工衛星を使用した通信であり、画像を送れる。
- ・衛星通信サービス「スターリンク」の配備は、協会では導入している。
- ・1機あたり250万円位で購入できる。補助金もあるので、安中市も導入を考えてほしい。
- ・旧国道18号の土砂流出時や地蔵峠での積雪時では、状況報告したくても、現地では発信できず、会社に戻ってから発信した状態であった。

##### 3.現場代理人について

現場代理人の兼務について意見交換を行いました。

##### 【主な内容】

- ・現場代理人は市の発注説明書の中に「この工事は現場代理人の常駐緩和工事です。」という一文があり、主任技術者は兼務ができるが、監理技術者は兼務ができない。兼務する場合には監理技術者補佐を付ける必要がある。
- ・監理技術者になる要件が、下請けに出す工事が5千万円以下という縛りがあり、物価高騰で以前と同じ工事でも単価が上がっているため、人が足りない状態が続いて

	<p>いる。</p> <p>・土木工事の場合、工期が揺れ動くため、監理技術者が足りなくなることがある。安中市だけではなく、群馬県全体が同様。公共工事は兼務が難しい状態である。</p>
<p>市への提言 または要望</p>	<p>○一般社団法人群馬県建設業協会安中支部との意見交換について 経済建設常任委員会では、市内建設業協会11社の建設会社代表との意見交換を7月14日に行ない、建設業界における人手不足の問題をはじめ、以下のとおり貴重な意見も出されました。</p> <p>執行部にも概要を把握して頂き、市政に反映して頂きたく、意見交換の要旨を記載致します。</p> <p>1.衛星通信サービス「スターリンク」について 災害時に通信が遮断されてしまう問題ですが、この通信は、災害が発生した時にも、人工衛星を使って通信で画像を送ったりできることから、「スターリンク」の購入に際しての補助金を検討頂くと共に、安中市でも導入の検討をお願い致します。1機あたり250万円位で購入できるとのことですので、調査研究をお願い致します。</p> <p>2.除雪作業等における竹切りへの対処について 竹切りについては、竹が細い時期であれば、費用は少なくて済むとお聞きしています。竹が倒れる場所と地権者は事前にわかっているようですので、竹が伸びる前の段階で、市として対応できるような検討をお願い致します。</p> <p>3.残土処分について 残土処分については、安中市だけではなく、全国的な問題です。市側で管理すれば、廃棄物等が入る懸念も払拭されると思いますので、各社が困っている残土処分地を、安中市で確保又は用意して頂きますようお願い致します。</p> <p>4.入札について 「公共事業等の市内業社への優先発注並びに地元産品の優先使用を求める決議」を採択しておりますので、市議会としても優先してほしいとの意向であります。入札に関しましては、市内に本社があり、地域貢献して頂いている地元業者を優先して頂きますようお願い致します。</p>